

共創プロジェクトゼミAで、“実践”を経験

— 学科を越えて、課題に向き合い、形にする —

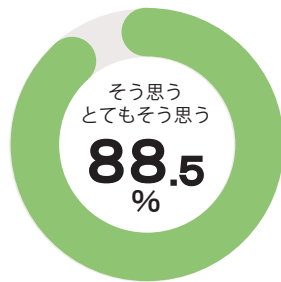
共創プロジェクトゼミ A では、学生が自らプロジェクトを選び、学内や地域、企業等と関わりながら、課題を見つけ、考え、実践し、成果を発表します。

Q: 自分の成長を実感できた。



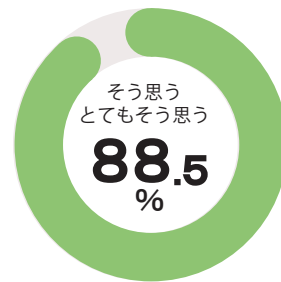
- ・自分の考えを言語化し、**伝える力**が身についた。
- ・他の学生の視点に触れ、**多角的に**考えられるようになった。

Q: 主体的に参加し、最後までやり遂げた。



- ・諦めずに最後までやり通す経験が、**自信**になった。
- ・自分から提案したり、外部の方に連絡したりと、積極的に**行動**できるようになった。

Q: 学内・地域・社会とのつながり意識できた。

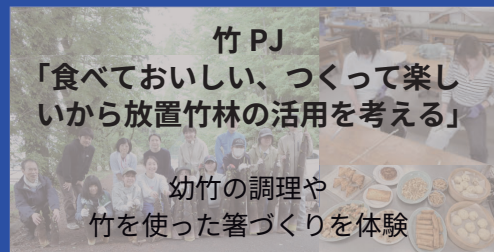
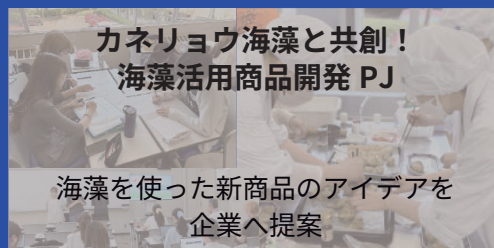
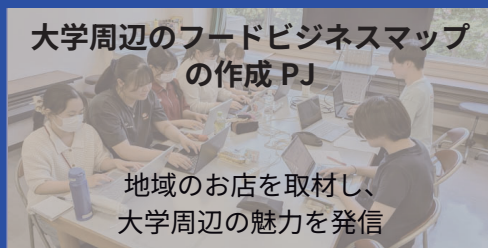
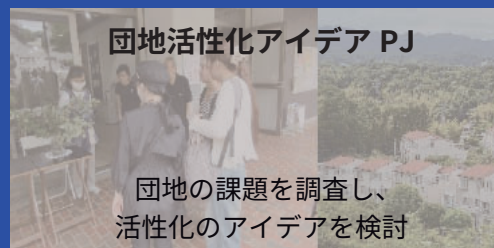
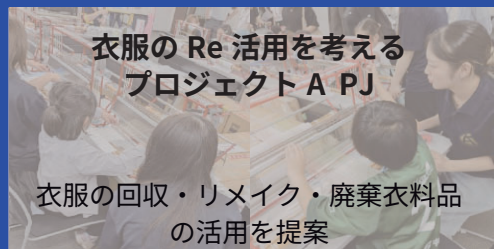
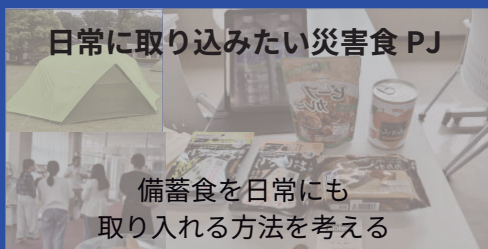
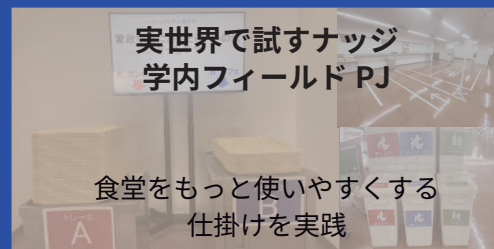


- ・店舗や大学内の部署との調整を通して、**社会に出た後につながる経験**ができた。
- ・企業の方に提案できたことが、**進路**を考えるきっかけになった。

2026 年度共創プロジェクトゼミ A での
全体振り返りアンケート調査結果 (n=26) より作成

2026 年度前期 7つのプロジェクト

興味・関心に応じて、プロジェクトを選択



仲間と学び、成長を重ね
4年間のゼミナール

1 年次 初年次ゼミ A/B

2 年次 共創プロジェクトゼミ A/B

3 年次 アドバンストゼミ A/B

4 年次 卒業研究 A/B
卒業論文・卒業制作

作成：ゼミの教育内容・方法 WG



生活を変革するプロフェッショナルへ
東京家政学院大学
TOKYO KASEI GAKUIN UNIVERSITY



生活共創学部 生活共創学科（生活イノベーションコース・住環境デザインコース・食科学コース）
こども教育学科
町田キャンパス 〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地 TEL：042-782-9811 (代)
問い合わせは、アドミッションオフィスまで
TEL：03-3262-2258 FAX：03-3262-2174 E-mail：nyushi@kasei-gakuin.ac.jp



<https://www.kasei-gakuin.ac.jp/>

仲間と学び、成長を重ねる

4年間のゼミナール

ゼミナール（ゼミ）とは、少人数での話し合いや発表、課題解決を通して、自分の考えを深める授業です。

活動内容（2026年度実施例）

初年次ゼミA

自己紹介／キャンパス探検／ノートの取り方・プレゼンの仕方／オープンキャンパスの提案等

初年次ゼミB

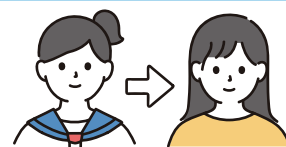
進路を考える／キャンパス課題発見等

1 年次

初年次ゼミA/B

自分を知り、大学を知る

高校生が大学生になるための学びから、大学の学びを理解する。



2 年次

共創プロジェクトゼミA/B

社会とつながり、問いを見つける

様々な諸問題を、学内外で実践的に解決できる力を養う。



3 年次

アドバンストゼミA/B

専門性を深め、自分の研究テーマを見つける

前期に自身に取り組む卒業研究のテーマをじっくりと議論し考え、後期からの研究室配属だから安心。

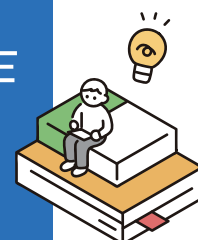


4 年次

卒業研究A/B 卒業論文・卒業制作

自分の問いを追究し、社会へ発信する

これまでの学びを活かし、社会における諸問題を、解決できる力を養う。



副指導教員制度

大学4年生になると、自分でテーマを決めて取り組む「卒業研究」が始まります。生活共創学部では、この大切な学びを支えるため、必要に応じて主指導教員とは異なる視点から助言や指導を行う「副指導教員」をつける制度があります。

副指導教員は、専門的な知識や経験をもとに助言を行い、主指導教員とは異なる立場から研究をサポートする教員です。

この制度により、複数の教員から支援を受けながら研究をより深められ、自分の関心に安心して取り組むことができます。



学生の成長値最大の大学へ！
東京家政学院大学
TOKYO KASEI GAKUIN UNIVERSITY

Knowledge
Virtue
Art
100
Anniversary

